



大野 則男 議員

夢ある計画の方針を持って

質問

市長はタウンミーティングで、平成52年に人口23%減、地方交付税も55億円から35億円まで落ち込むことに対して、予算を250億円から190億円にしていく方針で、事業見直しなど、統廃合するものも出てくる方針だ。しかし、真剣に人口減少の分析をし、減少を食い止める対策を出すべきだが。

企画部長

平成22年には6万4千978人で、30年後には1万5千人減る推計がされている。

持てないか。

経済建設部長

一団体のみで計画は困難。近隣市町と計画するものだ。

質問

市街化の拡大・地権者の人に組合を立ち上げてもらい人を呼び込むまちづくりにはできないか。

経済建設部長

今、地価が下落し、事業は難しいが、市街化区域で有効にその区画を整備し、編入ということが可能。地域から声が上がって行政が指導をさせてもらう形であるなら可能と考える。

質問

観光協会への、積極的な応援策を。例えば、愛西の日を定め、地産地消フェアとか、道の駅と観光船との組み合わせでの事業はどうか。また、観光協会のマスケットキャラクターを製作し、「あいさいさん」とセットでPRをする考えは。

経済建設部長

できるかぎり民間の考えを導入し、活力に満ちた地域の実現を目指す。協会には人件費、事務費などを補助している。

質問

工業団地造成で、あらゆる角度で検証する必要がある。県が認証した事業であり、誘致は県に責任があると思っ

いるのでは。

今現在トップセールスで何%ぐらい誘致の確約をもらっているのか。

経済建設部長

平成27年度末に、造成工事着工、県企業庁による土地分譲スタートとなる。早く契約できるよう、県と協力して、責任を持って進めていく。

